

科目名称:	プログラミング基礎演習	
担当者名:	瀬戸 就一	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
C言語を利用してプログラミング技能を修得します。この授業ではシンプルな文法に慣れてもらい、英語の命令を1つ1つ理解しながら学習を深めていきます。C言語の初歩の初歩を学習することが目的です。実際にプログラムを作成しながら、プログラミングを学んでいきます。ただし、プログラミングの作成技法に関しては参考図書等による自己学習が前提です。		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・C言語の概念を理解し、簡単なプログラムが書けること ・printf関数の型(%d,%c)の違いについて理解すること ・scanfによる入力処理を理解すること ・ifによる条件分岐について理解すること ・whileループの処理方法について理解すること 		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	70		20	10	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
プログラムの流れ	問題文を読んで、条件に基づいてプログラムの流れを正確に書くことができる	問題文を読んで、条件に基づいてプログラムの流れを書くことができる	問題文を読んで、条件に基づいてプログラムの流れを指示通りに書くことができる	問題文を読んで、条件に基づいてプログラムの流れを書くことができない
命令の使い方	プログラムの流れに沿って、適切な命令を選択し、1行1行正確な結果を出力する命令を書くことができる	プログラムの流れに沿って、適切な命令を選択し、結果を出力する命令を書くことができる	プログラムの流れに沿って、指示した通りの命令を使用し、結果を出力する命令を書くことができる	プログラムの流れに沿って、指示した通りの命令を使用しても、結果を出力する命令を書くことができない
エラーの対処	実行エラーの原因を自分で考え、試行錯誤しながらエラーの対処が正確にできる	実行エラーの原因を自分で考え、試行錯誤しながらエラーの対処ができる	実行エラーの原因を自分で考え、指示通りにしながらエラーの対処ができる	実行エラーの原因を自分で考え、指示通りにしてもエラーの対処ができない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 C言語の実行環境、サンプルプログラム実行	C言語について、事前に調べておく	30分
第2回 関数と引数、ヘッダファイル	インタプリタを使用して、プログラムを実行してみる	30分
第3回 printf関数で数値を表示、関数の戻り値	printf関数の書き方を予習して、実行してみる	60分
第4回 演習1：print関数（ディスカッションを交えて演習）	教科書の「printf関数」の練習問題を復習しておく	60分
第5回 四則演算、式	四則演算方法について、事前に調べておく	60分
第6回 変数、変数名	変数名のルールについて、事前に調べておく	60分
第7回 演習2：四則演算（ディスカッションを交えて演習）	教科書の「変数と演算」の練習問題を復習しておく	60分
第8回 printf関数の型、変数の型	printf関数の%dと%c、変数の型の分類について復習しておく	30分
第9回 キャスト、scanf関数	キャストによる型変換方法とscanf関数の使い方を復習しておく	60分
第10回 演習3：scanf関数（ディスカッションを交えて演習）	教科書の「scanf関数」の練習問題を復習しておく	60分
第11回 if命令、if～else、else if	if関数の条件分岐について、よく復習をしておく	60分
第12回 if命令の入れ子、複数の条件（&&, ）	複数の条件を組み合わせる方法について、復習をしておく	60分
第13回 while命令による繰り返し	繰り返し処理のイメージを理解して、復習をしておく	60分
第14回 for命令による繰り返し	while命令と比較してfor命令による繰り返しを復習しておく	60分
第15回 演習4：期末模擬問題（ディスカッションを交えて演習）	これまでの命令をよく復習しておく	120分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。

成績評価の方法・基準

定期試験は、70%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。

期末試験70%、演習課題20%、積極的な授業参加の関与10%で評価を行う。

課題に対するフィードバック

演習の課題を評価し、返却する。

教科書・参考書

教科書：3ステップでしっかり学ぶ C言語入門（改訂2版） 朝井淳 著（技術評論社）※毎回、指定ページを参照し演習を行う。
参考書：C言語に関連する入門書全般